

未利用生物資源活用で 注目される取り組み

定員50名
参加費無料

日時

2025年1月22日（水）

14:00～16:30

会場

札幌グランドホテル 別館1F グランシェフ

共催

経済産業省北海道経済産業局

一般社団法人北海道バイオ工業会

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

基調講演

1. 成長のツボを押す新しい植物生育促進技術・次世代バイオマスとしてのウキクサ
国立大学法人北海道大学大学院 地球環境科学研究所 環境生物科学部門 環境分子生物学分野 教授 森川 正章 氏
2. ウキクサの持続可能な生産で食料安全保障、気候変動に挑む
Floatmeal 株式会社 代表取締役 北村 もあな 氏

事例紹介

1. 未利用資源を活用した新事業への挑戦
北海道ワイン株式会社 経営企画室次長 田島 大敬 氏
2. 北海道産秋鮭の未利用部位からの機能性素材の開発
株式会社リナイス 代表取締役 中野 英春 氏
3. 十勝地域内での未利用資源の利用可能性
株式会社コスモ 取締役 研究開発部長 大庭 潔 氏

関連施策

経済産業省北海道経済産業局/（公財）北海道科学技術総合振興センター/（国研）産業技術総合研究所北海道センター

未利用生物資源活用で 注目される取り組み

講師プロフィール



森川 正章 氏

北海道大学大学院 地球環境科学研究所 環境生物科学部門 環境分子生物学分野 教授

1983年 大阪大学工学部発酵工学科卒業/1985年 大阪大学大学院工学研究科発酵工学専攻博士前期課程修了/1985年 日清製油株式会社（現日清オイリオグループ）入社/1990年 大阪大学工学部助手/1994年 大阪大学工学博士授与/1995年 大阪大学大学院工学研究科助教授/2001年 ハーバード大学医学部微生物学分子遺伝学教室/文部科学省長期在外研究員/2004年 北海道大学大学院地球環境科学研究科教授/2011年 戦略的創造研究推進事業先端的低炭素化技術開発（JST-ALCA）「根圏微生物共生系を利用した高次植生バイオペロセスの開発」研究代表者/2020年 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（JICA/JST-SATREPS）/「タイ国・生物循環グリーン経済実現に向けたウキキサホロビオント資源価値の包括的開拓」研究代表者/2022年 タイ国カセサート大学名誉博士学位授与/2023年 環境バイオテクノロジー学会会長



北村 もあな 氏

Floatmeal 株式会社 代表取締役・北海道大学大学院水産科学院 修士課程2年生

ニュージーランドで日本人の両親のもとに生まれ、オーストラリアで育ちました。北海道大学で気候変動に関する研究に取り組む中で、「将来の食料を持続可能に確保することが、地球環境の保全につながる」と考えるようになり、次世代の食資源であるウキキサの量産技術開発と販売に取り組んでいます。大学では北極海における環境の変化が海洋生態系にどう影響するかについて研究をしています。実習では北極航海に1ヶ月乗船し、気候変動が及ぼす影響を目の当たりにしました。私は温暖化について学びたい、解決したいと思っていますが、誰も体験したことのない未来について、理解し、解決することの壮大さと難しさに気付かされました。そんなモヤモヤを抱えていたとき、大学内で「ウキキサ」の研究を行なっている研究室のメンバーに出会ったのが、Floatmeal設立のきっかけです。【実績一部抜粋】KPMG Dream賞（KPMG Global Tech Innovator Competition In Japan 2024）/第9回 NoMaps Dream Pitch 2024 最優秀賞 & 野村證券札幌支店賞 / 週刊東洋経済「すごいベンチャー100」2024年 選出

交流会 (任意参加・立食)

札幌グランドホテル 別館4F こまくさ

セミナー終了後、別室にて立食形式の交流会を催します。参加費2,000円申し受けます。

■お申し込み

以下の申込先に、件名を「【申し込み】バイオセミナー2025」とし、本文に氏名、所属、メールアドレス、交流会参加の有無を記入の上、E-mailによりお送りください。

【申込先】(一社)北海道バイオ工業会(事務局)

E-mail : jimu@hokkaido-bio.jp

※申込時に記載頂いた情報は、本事業の目的以外には使用しません。

お問い合わせ：経済産業省北海道経済産業局 地域経済部 健康・サービス産業課

TEL : 011-709-2311 (内線2554)

E-mail : bzl-hokkaido-bio@meti.go.jp

申込締切
1/16 (木)
17:00